



食品コース3年生

大垣養老高等学校との

交流及び共同学習



8月25日(月)、高等学校・特別支援学校の交流・共同学習推進事業の一環として、大垣養老高等学校の生徒の皆さんが来校されました。本校食品加工室にて、両校の生徒が協力しながら新商品の試作づくりに取り組みました。本校の生徒がマドレーヌの作り方を説明しながら、2校の生徒と一緒に作業を進め、これまでのアンケート結果をもとに、ジャムの量や焼き時間、見た目などを工夫して改良を重ねました。作業中は、ボウルを支え合ったり、生地を確認し合ったりと、声をかけながら協力する姿が見られました。試食の時間には、「マーマレードの香りが強くなった」「もっとしっとりしていると良いかも」といった率直な意見が交わされ、活発な意見交換が行われました。

今後も改良を重ね、完成を目指していきます。次回の交流も楽しみです♪

